



やしろ

矢代小学校だより
平成 23 年度 第6号
12月22日

77日×65人 どんな2学期でしたか？

いよいよ今日が2学期の最終授業日となりました。65人の矢代っ子が、全員無事にこの日を迎えることができたのが、何よりも嬉しいです。

8月31日から77日間の2学期でしたが、全員の過ごした日々を合わせて計算すると、77日間×65人=5005日間にもなります。この1日1日の積み重ねが、矢代小学校の2学期の歩みです。

振り返れば矢代っ子祭をはじめとする学校行事、地域をフィールドに学習した各学年の活動、そして日々の学習、給食、遊びなど、たくさんの活動があった77日間の学校生活でした。

この77日間で、子どもたちは何を学び、何ができるようになったのでしょうか。一人一人違うこととは思いますが、あらためて子どもたちの成長の早さに驚かされます。明日からの冬休みは、子どもたちが家庭や地域で育つ機会です。時には厳しく時には温かく指導くださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、当校に対し多大なるご支援をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。



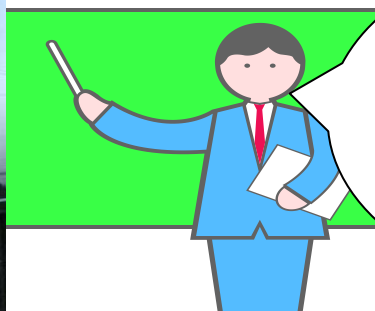
おぼえていますか？ 2学期が始まったのは、まだまだ暑い日が続いている8月31日でした。じっとしていても汗をかいてしまうほどの暑さでした。服装も、Tシャツと半ズボン。体育館の窓からは、輝くような太陽の光が降り注いでいます。

あの暑さは、どこに行ってしまったのでしょうか？ たった4ヶ月しかたっていないのに、学校の積雪は80センチにもなっています。季節の移り変わりが早いのでしょうか、それとも季節の変化に追いつけないからでしょうか。

矢代小学校のなぞ その2



創立以来137年間の歴史をもつ矢代小学校。広い校地には、過去の活動で使われた様々な施設・用具等が今も残っています。前号では、児童玄関前の「二ノ宮金次郎さん」について掲載しました。第2回は、この棒です。



この棒はなんですか？ プールの横に立っています。何のために、ここに立てられたのでしょうか？ 積雪計ではありません。答えは、裏をご覧ください。



答えは、「^{ふうりょくけい}風力計」です。

当時（昭和30年代 児童数約500人）、矢代小学校は、特に理科教育に熱心に取り組み、素晴らしい成果を挙げていました。

学校のプールの脇にすえられたこの風力計で、気象クラブの子どもたちは、風の強さや風の方向を調べていたのです。また、一緒に写っている百葉箱の中の温度計・気圧計などを使って、毎日気象観測をしていたということです。そのデータを使って、矢代地区の天気予報をしていたのではないのでしょうか。

こうした教科書で学んだ内容を、自分のたちの生活に役立てようとする活動は、まさに「ほんものの学習」です。「覚える」で終わりにしないで、「自分でやってみる」「データから考える」という当時の矢代っ子の姿は、まさに今日求められている「生きる力」ではないのでしょうか。



今年の冬休みは、

「おしごとチャレンジ Day」を、
冬休みもつづけます。頑張ろう！

家族のために、自分ができるところをたくさんしよう！

11月に保護者の皆さんから後期アンケートに協力いただきました。その結果を集計したところ、「家庭でのお手伝いについて」次のような矢代っ子の姿が明らかになりました。

- ・家で「お手伝いを必ずする」子どもは5人しかいない。
- ・「お手伝いをほとんどしない」子どもが11人もいる。

そこで、12月の中旬は、毎日必ず家のお手伝いをする「お手伝いチャレンジ Day」に取り組みました。学校では、それぞれがしたお手伝いを毎日記録しました。

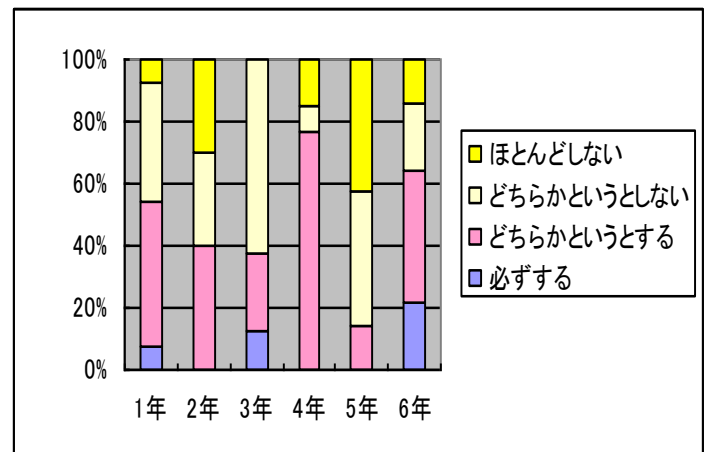
この取組の成果を生かし、この冬休みには、「お手伝いを続ける」、「自分のできるお手伝いを見つけ、チャレンジする」子どもの姿がたくさん見られることを期待しています。大人が忙しい年の瀬、お正月だからこそ、たくさんお手伝いを子どもたちにしてほしいのです。

家族の一員として「お手伝い」をすることから学ぶことも多いと考えます。仕事の大変さとともに、家族のためにやりとげた時の成就感・満足感は、普段の学校生活では味わえないのではないのでしょうか。その際には、ぜひほめてあげてください。その「ほめられる」体験が自信になることでしょう。

どんなお手伝いがかできたか、3学期の始業式に聞くのが楽しみです。ご協力ください。

2 お子さんの家庭生活について

(1) お子さんは、家でお手伝いをしていますか？



やった！ほめられた！うれしいな。

